インドネシア国　スラリーアイス製造装置を活用した水産物の鮮度保持および流通システム改善に係る案件化調査

企業・サイト概要

- 提　案　企　業 ：株式会社　泉井鐵工所
- 提案企業所在地：高知県室戸市
- サ イト　：マカッサル（南スラウェシ州）
- C/P機関 ：海洋水産省製品競争力総局

提案製品シャキットミニ
（左：攪拌機付貯氷タンク、右：製氷装置）

インドネシア国の開発課題

水産資源が有効活用されていない

- コールドチェーン未整備による生鮮魚介類の劣化
- 安値での漁獲物取り引きによる低所得（地域間格差）
- 漁獲物付加価値向上に関する漁民や行政の知識・ノウハウ不足

中小企業の技術・製品

スラリーアイス製造装置（平成22年、特許登）
塩分濃度 0 － 3.5% 迄　任意濃度に対応

- ■-1℃　→　魚体へのダメージを最小に最適温度帯での鮮度保持
- ■-3℃　→　従来のプレートアイス、フレークアイスよりも急速で冷凍

類似他社製品に比べ小型、コンパクトモデル

- ■低消費電力、低い製氷コスト
- ■無電化地域や漁船搭載など広範なユーザーに対応可能

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

■ 東部地域の水産物流通改善計画（普及・実証事業）
汎用型スラリーアイス製造機導入により地方部で魚鮮度保持について啓発が図られ、地域経済の発展に資する。

（1） スラリーアイスを活用したコールドチェーンが整備され、有用魚介類（カツオ・マグロ類）の付加価値が向上する。
（2） 水揚げ施設が整備され、漁民の所得が向上し、地域格差が是正される。

日本の中小企業のビジネス展開

冷凍機（本邦製品）の供給
→ 現地調達部品を使用した装置組立
→ 現地適応化のための技術改善
→ 維持管理のマニュアルなど技術資料の作成、技術研修

受注生産と販売